



* 阿南高専

第128号
令和8年3月

図書館便り*



【図書館長あいさつ】

図書館長 藤居 岳人 (一般教養)

図書館長の藤居です。2年ぶりの図書館への復帰で、前回の館長時に始めたビブリオバトルを活性化させるべくPRを強化しています。高専にはいろいろな学生がいますが、普段の教室ではそれほどめだたない学生の中にも読書好きの学生がちらほら存在しています。彼らに「バトルしてみない?」と声をかけると意外にも積極的に引き受けてくれます。そして、実際にプレゼンしてもらった内容で、こちらがびっくりしてしまいます。ビブリオバトルは、学生の隠れた良い面を垣間見ることができる取り組みだと思います。普段、図書館にあまり足を運ばない学生もぜひ一度ビブリオバトルをのそきに来てください。いろいろな本との出会い、いろいろな学生の良い面との出会いがあるはずですよ。

【教員推薦図書】各教科の先生方にお薦めの図書を紹介していただきました。

『 作り方を作る 』 佐藤 雅彦 著



皆さんは「佐藤雅彦」という人をご存じでしょうか。この名前を知らない人であっても、彼の手掛けた作品のどれかに、なじみ深いもの、記憶に残っているものがきっとあるはずです。私にとってはやはり「だんご3兄弟」です。学生の皆さんには「ピタゴラスイッチ」なら伝わるでしょうか? 教育番組やCM、ポスターやコピーライティング、漫画、ゲーム、楽曲、映画……佐藤雅彦は、幅広い表現ジャンルで活躍するクリエイターです。『作り方を作る』は、そんな佐藤雅彦の創作活動の軌跡をたどる、横浜美術館で行われた大規模展覧の公式図録です。しかし、その内容は単なる展示記録にとどまりません。佐藤雅彦が40年にわたる創作活動を振り返り、自ら書き下ろした「物語りの形をした図録」なのです。本書には彼がこれまで歩んできた道のりや、作品を生み出す前提となる「世界の観察の仕方」「ものごとの解釈の仕方」「考えの整理の仕方」といった思考のプロセスが語られています。これから「作る」ことを考えていく高専生の皆さんにおすすめの一冊です。

一般教養 藤原 みずき 教員

『 メキシコ人はなぜハゲないし、死なないのか 』

明川 哲也 著



著者の明川哲也氏は昔「ドリアン助川」という名前で、詩人や人生相談番組のDJなどをしていた変わったお兄さんでした。若い頃の私はこの人の言葉に励まされることが多かったのです。そんな彼がアメリカに旅立ち、そして再び日本で活動するにあたって(知らない間に)不思議な小説を書く人になっていました。

主人公の料理人タカハシはツキから見放された44歳、人生に絶望してニューヨークで首つり自殺をします。タカハシの魂はこの世界を「憂鬱の砂嵐」から守るため、2匹のネズミとメキシコの4つの宝を探す旅に出ることになります。この旅の中でタカハシはメキシコの厳しい運命に耐える強さの源が4つの宝であることに気づくのですが、4つめの宝が何なのかわからず、旅の期限である死者の日に間に合いません。結局タカハシは救われないのですが、周りの人は見事に彼に救われていきます。そして読者は生きていくために大事なことを授けられるのです。

機械コース 奥本 良博 教員

『 魚にも自分がわかる 動物認知研究の最先端 』

幸田 正典 著



魚が鏡を見て「自分だ」と認識し、身体に付いた寄生虫を取り除こうとする、そんな一見信じがたい実験結果を著者は丹念に追究し、動物認知研究の地殻を揺るがす新たな視座を提示します。これまで「自己意識」や「鏡像自己認識」という高度な認知機能は、人間を含む霊長類、イルカ、ソウなどの哺乳類や一部の鳥類にしか認められないものと考えられてきましたが、本書は魚類にもその可能性があることを科学的実証とともに明らかにします。

本書は単なる実験報告の羅列ではありません。魚類の脳構造・個体識別・鏡像自己認識実験の歴史と議論・批判への応答を一貫した語り口で整理しています。特に魚類研究の常識を覆す挑戦の軌跡とそれを支える知見の積み重ねは、科学の現場の息遣いを伝える読み応えのある物語です。生物学に関心のある人のみならず、卒業研究を行っている・これから行う学生の皆さんに是非読んでほしい一冊です。

電気コース 朴 英樹 教員

『 東大卒プログラマー論理は結局、情熱にかなわない 』

ときど 著



「ゲームばかりしないで勉強しなさい」とよく言われますが、実はゲームも勉強も「攻略法がある」という点は似ています。東大卒のプログラマー・ときど選手は、格闘ゲームの世界大会で活躍する一方、大学院生として国際学会でポスター賞を受賞するなど研究者としても成果を挙げています。ゲームも勉強も研究も、勝利の方程式には共通点があるのです。ただし、効率のよい攻略法を知れば努力せず楽に勝てるわけではありません。ときど選手はもちろん、野球の大谷翔平選手や将棋の藤井聡太王位など、一流の人たちは例外なく圧倒的な努力量を重ねています。私は情報コースの教員なのでGoogleのエンジニアの知人もいますが、彼らはスマートに仕事をこなすだけでなく、時には10万回のログを目視で確認する作業も当たり前に行います。本書の副題の通り、「効率」だけでは到達できない境地があり、最後は「情熱」が不可欠です。ゲームも勉強も本気で極めたい高専生のみなさんにおすすめの一冊です。

情報コース 太田 健吾 教員

『 図解ジオ・ヒストリア 』

長期変動の世界史が語る衝撃の事実!! 茂木 誠 著



天文現象や気候変動などと文明存亡との関係、世界各国の政治・宗教に与えた影響を予備校の世界史講師でもある著者が図解で分かりやすく示しています。オリオン座の三ツ星の並びがエジプトの三大ピラミッドの配置と酷似していたり、浅間山などの大規模噴火がフランス革命の遠縁であると考えたり、日本神話の八咫鳥(やたがらす)と地球温暖化・寒冷化との関係性の説明があったり、とても明快なリズムで記述されています。また、本書は2022年刊行の前作「ジオ・ヒストリア」の大型ビジュアル版として発刊されており、年表や図表、写真が盛り込みに活用され、読みやすくて、分かりやすいものとなっています。世界史など歴史に興味を持っている人にはもちろん、そうでない人へも、お薦めできる一冊です。

建設コース 吉村 洋 教員

『 リバース 』 湊 かなえ 著



「謎が解けてスッキリ!!」そんなミステリーも魅力的ですが、たまには「イヤミス」を読んでみませんか?

「イヤミス」とは、読後何とも言えないイヤ〜な気持ちが残るミステリーのこと。そのジャンルの第一人者が湊かなえ先生です。代表作『告白』を読んだことがある方もいるかもしれませんが、『リバース』も負けず劣らずの名作です。主人公は、ごく普通のサラリーマン。彼の秘密を辿っていくうちに、鮮やかな伏線回収と衝撃のラストが待っています。実は本作、編集者から出されたお題をもとに書かれたそうです。本編だけでなく、巻末の解説も読み応えがあり、「どうやってこんな物語を思いつくのだろう?」「どんなプロセスで書き進めるのだろう?」と、小説家の創造力に驚かされる一冊です。

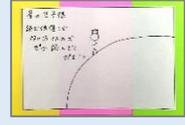
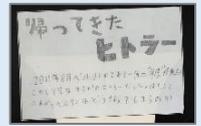
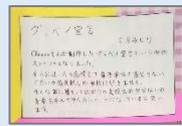
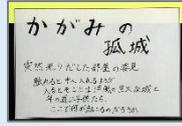
読後、爽快な気持ちにはなれないかもしれませんが、一方で、作品中の主人公の気持ちや行動に共感できる方もいるかもしれません。心に残る「後味の悪さ」を味わってみたい方に、おすすめしたい作品です。

化学コース 本田 晴香 教員

【学生図書委員会の活動】

*企画展示「学生図書委員のおすすめ本」

学生図書委員の協力により、おすすめ本の企画展示を行いました。コメント付きポップを添えて展示することで、本の魅力を分かりやすく伝えることができました。



*ブックハンティング

10月25日(土)、紀伊國屋書店(アミコ徳島店内)にて、ブックハンティングを行いました。短い時間ながらも、参加者の皆さんが、熱心に本を選ぶ姿が印象的でした。蔵書の充実につながりました。



【ブックハンティングに参加して】

21 町田 雪笑 さん

今回は私にとって2回目のブックハンティングでした。配布された機械の使い方なども把握していたので、前回よりスムーズにできたと思います。ただ、反省点として予算を大きく超えて本を選んでしまったことがあります。面白い本が多くて絞りきれませんでした。また次回に活かしたいです。

2Z 宮浦 夢子 さん

私は、今回ブックハンティングに初めて参加しました。気になった本を全て選んでいると、すぐに値段の上限に達してしまいました。選んだ本のジャンルが偏ってしまったので、次回参加する時は、もっとまんべんなく選びたいです。

4I 仁木 郁斗 さん

私は今回初めてブックハンティングに参加したのですが、新たな視点から物を見るいい機会になりました。私は普段から、本を買っていますが、個人的に本を買うときは自分の感覚に従って、読みたいものを買うだけです。しかし、今回のブックハンティングでは、他の人におすすめする本を選出するので、普段とは違った考え方をすることになりました。そういう視点で本を見ていると、普段は目に止まらないようなジャンルの本が気になったりして、いい経験になりました。

4Z 池田 直太郎 さん

普段本屋に行かないので本というものに触れるいい機会になったと思います。自分の興味のある分野の小説などについてさらに詳しく知ることができたり、意外な部分で小説同士のつながりを感じることができたので非常にいい体験になりました。

4Z 福永 莉音 さん

今まで欲しい本が沢山あるものの、お金が無くて買えないことが多かったので、学校に買って貰うことでより読書をする気が出てきた。普段買うか迷うものも取り揃えてくれたので、より幅広いジャンルの本を読もうと思った。

【ブックハンティングで選んだ本のポップ作成】



『ニンジャスレイヤー』

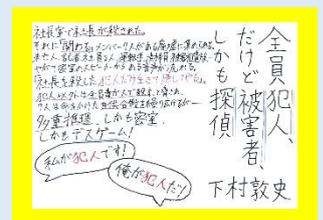
21 町田 雪笑 さん

ブックハンティングコーナー
933.7/B64

『全員犯人、だけど被害者、しかも探偵』

2Z 宮浦 夢子 さん

ブックハンティングコーナー
913.6/Sh53



『こちら、終末停滞委員会。』

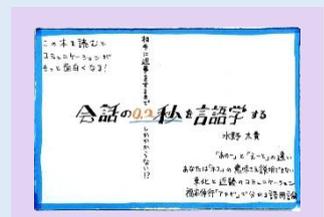
4I 仁木 郁斗 さん

ブックハンティングコーナー
913.6/A24/1~4

『会話の0.2秒を言語学する』

4Z 福永 莉音 さん

ブックハンティングコーナー
804/Mi96



*ビブリオバトル

ビブリオバトルは、本を紹介し合うイベントです。自分の「好きな本」や「誰かにぜひ読んでほしい本」を持ち寄り、その魅力や面白さを、5分間でプレゼンします。最後に「一番読みたくなった本」に投票し、最も多く票を集めた本を「チャンプ本」とします。ビブリオバトルで紹介された本は、図書館の企画展示でも紹介しています。

ビブリオバトル結果一覧

第1回ビブリオバトル (2025. 5. 21) 会場：ラーニングcommons (図書館棟2階)

チャプ本	バトラー (紹介者)	紹介本
	4I 田木 優河	『「織細さん」の本』 武田友紀
☆	2C 近藤 仁技	『夏へのトンネル、さよならの出口』 八目迷
	5E 松二 慎吾	『英語で読む 星の王子さま』 サン=テグジュペリ
	教員 藤居 岳人	『サピエンス全史』 上・下 ユヴァル=N=ハラリ

ギャラリー：学生16名、校長先生をはじめ教員3名、事務職員1名



第2回ビブリオバトル (2025. 7. 2) 会場：ラーニングcommons (図書館棟2階)

チャプ本	バトラー (紹介者)	紹介本
	4M 一柳 里菜	『峠』 上・中・下 司馬遼太郎
	2M 米田 壱生	『超高速! 参勤交代』 土橋章宏
	2Z 宮浦 夢子	『元素楽章-擬人化でわかる元素の世界-』 揚げ鶏々
☆	2C 讃岐 優奈	『私が大好きな小説家を殺すまで』 斜線堂有紀

ギャラリー：学生13名、校長先生をはじめ教員3名、事務職員2名



第3回ビブリオバトル (2025. 11. 2) 会場：ラーニングcommons (図書館棟2階)

チャプ本	バトラー (紹介者)	紹介本
	2I 町田 雪笑	『銀獣の集い』 廣嶋玲子
	4Z 福永 莉音	『よい対立 悪い対立』 アマンダ・リブリー
☆	4Z 木内 悠美	『告白』 湊かなえ
	4I 井口 蒼生	『海と毒薬』 遠藤周作

ギャラリー：学生10名、教員1名、事務職員3名、学生保護者3名・阿南市立図書館の方3名



第4回ビブリオバトル (2025. 12. 6) 会場：阿南市立那賀川図書館 (視聴覚室)

チャプ本	バトラー (紹介者)	紹介本
	2C 近藤 仁技	『方舟』 夕木春央
	1-3 多田 侑生	『懐徳堂儒学の研究』 藤居岳人
	一般参加者	『てぶくろ』 エウゲーニー・M・ラチョフ
	一般参加者	『国宝』 (上・下) 吉田修一
	1-2 荒浜 彩乃	『三日間の幸福』 三秋隼
☆	一般参加者	『GIVE & TAKE 「与える人」こそ成功する時代』 アダム・グラント

ギャラリー：学生12名、一般の方26名・阿南市立図書館の方3名



第5回ビブリオバトル (2026. 1. 14) 会場：ラーニングcommons (図書館棟2階)

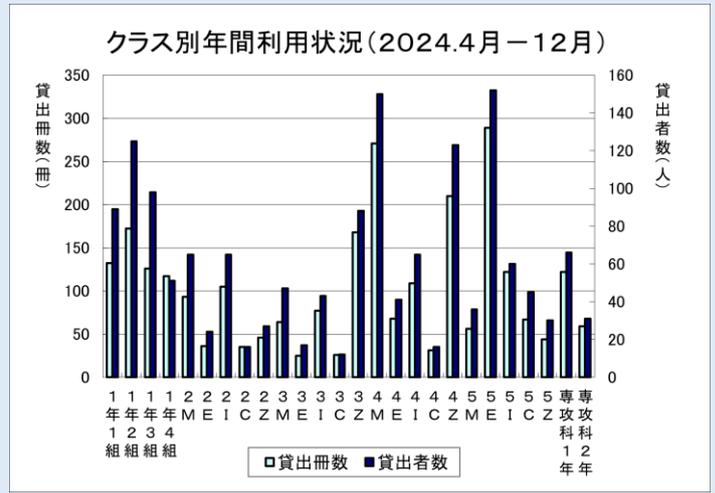
チャプ本	バトラー (紹介者)	紹介本
	2M 米田 壱生	『沈黙のパレード』 東野圭吾
	4I 上田 椋菜	『デルトラ・クエスト1 沈黙の森』 イリ・ロッダ
	4M 福井 健悟	『昇降機工学』 藤田聡ほか
☆	専1 柳本 祐治	『幽玄F』 佐藤 究
	3C 江本 将介	『東大教授がおしえるやばい日本史』 本郷和人

ギャラリー：学生6名、教員1名、事務職員1名、一般の方1名、富岡西高校学生2名、同高校職員1名



【クラス別図書貸出状況】

2025年度4月～12月のクラス別貸出状況です。貸出の一番多かったクラスは270冊以上ありました。貸出図書の傾向としては小説が多く、『斜め屋敷の犯罪』（島田荘司著,2016）が最も多く貸出されました。資格試験コーナーでは、『公式 TOEIC listening & reading 問題集 11』（ETS 著,2024）が、去年に引き続き1番人気でした。図書だけでなく雑誌やDVDも充実しているので、勉強の息抜きに立ち寄ってみてください。新しい発見や出会いがあるかもしれませんよ。今年度図書館を利用しなかった学生さんも、来年度はぜひ利用してみてください。図書館からのお知らせは、随時 manaba に掲載しています。ぜひチェックしてみてください。



【企画展示コーナー】



図書館では、毎月テーマを変え、館内3か所で企画展示を行っています。4月の企画展示は「映像化された小説」「学生おすすめ本」「ノンフィクション」をテーマに展示を実施しました。今後の企画展示もどうぞお楽しみに！

【図書館職員からの推薦図書】



『13歳からの地政学
カイソクとの地球儀航海』
田中孝幸 著

「なぜ国同士は争うのか?」「なぜ日本は豊かだったのか?」そんな壮大な疑問を、中学生の兄妹と、謎のアンティークショップ店主「カイソク」との対話形式でわかりやすく地政学の入門書です。

本書の魅力は、複雑な国際情勢を「地理」という視点からシンプルに読み解く点にあります。難しい用語は使わず、地球儀を眺めながら各国の思惑や歴史的背景を紐解いていくため、読者はカイソクと一緒に世界中を旅しているような感覚で読み進められます。

大人でも気づけない「世界の裏側のルール」を学べる本作は、これから生きる学生はもちろん、教養を学び直したい大人にも強くおすすめしたい一冊です。

ブックハンティングコーナー 312.9/Ta84

【図書館からのお知らせ】

開館時間

- 平日 9時～19時 (休業期間中は、9時～17時)
- 土曜日 11時～17時 (休業期間中は、休館)
- 日曜日・祝日 休館

★図書館は保護者の方、一般の方もご利用になれます。

貸出を希望される場合は、身分証明書(運転免許証など)をご持参ください。

貸出冊数 5冊まで (休業期間中は、10冊まで)

貸出期間 15日間 (休業期間中は、延長)

★館内資料の文献複写(著作権法の範囲内での有料複写)や、DVDコーナーもご利用いただけます。

★詳しくは図書館までお問い合わせください。

TEL 0884-23-7106 E-mail tosho@anan-nct.ac.jp

★ホームページにて、蔵書検索や利用案内、図書館開館カレンダーなどご利用いただけます。

URL <https://www.anan-nct.ac.jp/facility/library/>



投書箱

図書館では、学生のみなさんのリクエストを受け付けています。

読みたい本や、学習や研究で使う本などがありましたら、閲覧室カウンターの投書箱へ投函してください。